



▲祭祀遺物(木製品)

市内には、国や県、市が指定した文化財がキラ星のごとく光り輝いています。このコーナーでは、445件※ある文化財の中から代表的なものをシリーズで紹介いたします。

※平成25年4月1日現在

神宮寺遺跡は、平方町に所在する古墳時代を中心とした遺跡です。発掘調査は、平成4(1992)年5月から10月にかけて民間開発に伴い実施され、調査の結果、川跡などが見つかっています。

川跡は、幅27m以上、深さは遺構検出面から80cmで、調査地全体において検出されました。川は東から西に蛇行しながら流れ琵琶湖に注いでいたと考えられ、川の中には堰状の施設が設置されていた。

見つかった川跡からは、多数の木製品、土師器、須恵器、石器、鉄器、土製品等、様々な遺物が出土しました。

遺物の年代は、3世紀から8世紀で、この中には祭祀に関連するものも数多く含まれています。

木製品では、輪鏡と鞍の前輪の2点が出土しており、造りは丁寧とともに漆の一部が残存しています。

土製品においては、実用品ではない造りの粗い手捏土器や、精巧なミニチュア土器、土玉、土馬が出土しています。

石製品には、勾玉、有孔円板(円く薄い石に穴をあけたもの)がある。

また、祭祀で使うため、木を用いて剣や刀、舟などにまねて作られた形代(かたしろ)が出土しており、調査地の近辺で多種多様な祭祀具を用いた様々な祭祀が行われていたことを裏付けています。

この他、3世紀から8世紀代の土師器や須恵器の杯身・杯蓋・高杯なども出土しており、祭祀遺物全体の年代を考えると貴重な資料となっています。

市域には、古くから数多くの河川が琵琶湖に流れ込み、ときとして、そこには祭祀の場が設けられました。このことは、市内各所の川跡で、祭祀遺物が出土する例が散見することからも明らかです。

なかでも本件の祭祀遺物は、その量と多様さで市域における調査



▲祭祀遺物(土器・土製品)

問 文化財保護センター  
(☎64-0395)

シリーズ

## ながはまの文化財

市内には、国や県、市が指定した文化財がキラ星のごとく光り輝いています。このコーナーでは、445件※ある文化財の中から代表的なものをシリーズで紹介いたします。

※平成25年4月1日現在

### 長浜市指定文化財 神宮寺遺跡出土品 87点 (平方町)

平成25年3月27日指定

神宮寺遺跡は、平方町に所在する古墳時代を中心とした遺跡です。発掘調査は、平成4(1992)年5月から10月にかけて民間開発に伴い実施され、調査の結果、川跡などが見つかっています。

川跡は、幅27m以上、深さは遺構検出面から80cmで、調査地全体において検出されました。川は東から西に蛇行しながら流れ琵琶湖に注いでいたと考えられ、川の中には堰状の施設が設置されていた。

見つかった川跡からは、多数の木製品、土師器、須恵器、石器、鉄器、土製品等、様々な遺物が出土しました。

遺物の年代は、3世紀から8世紀で、この中には祭祀に関連するものも数多く含まれています。

木製品では、輪鏡と鞍の前輪の2点が出土しており、造りは丁寧とともに漆の一部が残存しています。

土製品においては、実用品ではない造りの粗い手捏土器や、精巧なミニチュア土器、土玉、土馬が出土しています。

石製品には、勾玉、有孔円板(円く薄い石に穴をあけたもの)がある。



▲神宮寺遺跡 位置図

例としては群を抜いており、古代における祭祀を復元する上で重要な役割を果たしています。

## 心温まるクリスマス



長浜市国際交流員  
エバートン

皆さん、こんにちは。12月といえば、クリスマスですね！この時期ブラジルでは、日本と同じように街中でクリスマスの飾りを見ることができます。

近年、ブラジル経済は急速に発展しましたが、生活に苦勞している家庭は多いのが現状です。

サンタクロースの存在を信じる子どもたちの中には、手紙に「おもちゃが欲しい」と書く子もいれば、「お父さんに仕事が見つかるように」と願いを託す子もいます。

書いた手紙は切手なしで郵便ポストに投函し、これを毎年ブラジル郵便局が集めます。郵便局は“子ども

たちの願いごと”を叶えるサンタボランティア(手紙の里親)を募集し、ボランティアたちがプレゼントを郵便局に持ち込めば、クリスマス当日に、郵便局が無料で子どもたちに届けてくれます。

子どもたちを幸せにするために様々な人が協力し、誰もが素敵なクリスマスを過ごすことができます。



←配達準備をするブラジル郵便局のサンタさん

☆ワンポイントポルトガル語講座☆  
ボランティア

問 市民協働推進課 (☎65-8711)

### 行政 information

#### みんなでバスに乗ろう！ 地域で支える公共交通

問 都市計画課 (☎65-6562)

路線バスは身近な乗り物として市民の皆さんに親しまれてきましたが、利用者の減少により運行を維持することが困難になっています。

市では、皆さんの生活を便利で豊かなものにするため、地域の交通手段の確保に取り組んでいます。



#### Q: コミュニティバスって？

A: 市民の皆さんの生活交通を確保するため、バス事業者や行政などが連携して運営する路線バスです。市では、コミュニティバスや乗合タクシーなどの運行に対する補助や、地域公共交通会議で、よりよい公共交通のあり方を検討しています。

#### Q: コミュニティバスって必要なの？

A: マイカーの普及により、路線バスの利用は減少の一途をたどっています。が、免許を持たない子どもやお年寄りにとって気軽に利用できる公共交通は、なくてはならないものです。また、環境への負荷を軽減することから、公共交通の積極的な利用が求められています。

●高齢者には「小判手形」・「余呉バス」  
湖国バスの「小判手形」は65歳以上、また余呉バスの「余呉バス」では61歳以上限定して、1か月2000円からの定期券があります。乗車の際に定期券を提示いただくと、湖国バスは1乗車1000円で、余呉バスは1乗車2000円で利用できます。

●高校生には「限定きっぷ」  
湖国バスでは、1か月1万円で長浜・米原市内が乗り放題となる、高校生限定切符を発売しています。

また、学生証を提示いただくと、湖国バスでは運賃が100円引き、余呉バスでは1乗車200円になります。

※ただし、余呉バスは余呉駅、木ノ本駅で乗降する場合があります。

#### とにかくバスに乗ってみよう

時間に余裕のある日や一人で移動するときは、ぜひバスを使ってみてください。

普段はバスを使わない人でも、ひと月や一週間に一度、バスを利用いただくと、コミュニティバスの運行を支えることにつながります。

